

「総ぐるみ」新聞

たまり場「こぶし」を一部再開



手芸は毎週月・火曜日開催しています



先ず検温



次は手指の消毒



完成した皆さんの作品

そのため実際の活動はかなり窮屈なものになる体制を一新。

新型コロナウイルス感染症予防のため、3月より活動を中止していたたまり場「こぶし」活動プログラムのうち、手芸(毎週月・火曜日)、パソコン勉強会(第2・第4土曜日)、古典を楽しむ会(第1木曜日)・短

歌の会(第3木曜日)の四種目を7月から再開しました。
なお、再開にあたっては、県や市からの指導による感染防止対策の徹底を期すとともに、関係機関と新しい活動内容を共有することが条件となっています。そこで当会では、事前に各プログラムのコーディネーターに集まってもらい、チェックリスト等による勉強会を開き、

手芸・パソコン勉強会・古典を楽しむ会・短歌の会



パソコン勉強会



りましたが、久しぶりに参加した皆さんからは「顔を合わせるだけでも楽しい」「家族以外の人と会話ができてうれしい」「仲間の人と一緒に話したり手を動かすだけでポケ防止になるみたい」「早くほかのプログラムも再開してほしいね」など様々な感想をいただきました。

右の写真「短歌の会」のコーディネーター最相(さいしょう)さんのコラムを2面に掲載

NPO総ぐるみ福祉の会
所在地:「京急ニュータウン」バス終点 徒歩2分
住所 横浜市港南区日限山4-39-19 日限山ハイツ101号室
電話 045-846-8850 FAX 045-370-7272

【お知らせ】1面記載のたまり場「こぶし」の4つの活動は8月も開催しますが、他の活動と「日限山荘」は中止する予定です。再開が決まりましたら、追ってご連絡いたします。

当会の感染症対策としての取り組み

「新型コロナウイルス感染症防止に向けた取り組み」を徹底し 新しい課題にチャレンジ

居宅介護事業者である「NPO 絵ぐるみ福祉の会」が提供する介護サービスや障害福祉サービスという仕事は、利用者のお宅を訪問し、利用者やご家族の方々と直接触れる機会が多いだけに、新型コロナウイルス感染症防止には細心の注意が必要です。

感染防止に向けた取り組みとして、当会では、県や市からの通達やマニュアルに基づき対策の徹底を行うとともに、職員間での情報

共有を密にし、マスクや消毒液などの備品手当などの対策も十分に行っています。

とくに高齢者の方や医療的ケアが必要な障害のある方は、発症した際に重症化する恐れがあるだけに関係機関とも協力し、感染防止対策を徹底しています。

また、ヘルパーが利用者のお宅を訪問する際には、厚生労働省の指導による「ウイルスを受け取らない、渡さない」を作業の基本と

していますので、若干失礼を感じるかもしれませんがご理解をお願いします。

しかしながら新型コロナウイルスに効果のあるワクチンや治療薬が開発されていない現状では完璧な感染症対策はありません。今できることは、ひとり一人がウイルスに負けない免疫力をつけることです。それには、十分な睡眠・バランスの良い栄養・適量の運動を心がけ、健康的でストレスを感じない毎日を送ることが第一ではないでしょうか。

テレワークならぬ「テクテク」歩いて「短歌の会」を続けてきました 最相力



3月から閉鎖されていた「たまり場『こぶし』」が、やっと7月から一部再開されました。平日頃いっしょに活動していた方々とまた会えるという知らせは大きな朗報でした。

待ち兼ねたように7月2日に「古典

を楽しむ会」が、また7月16日に「短歌の会」が再開されました。

部屋のカーテンをさっと開け、コロナを意識してテーブルに横並びの座をつくり、卓上をアルコールで消毒し、入室される方ごとに照射型体温計で測定・記入してお迎え。新しい作業は加

わりましたが、みなさん久しぶりの出会いに顔が輝いています。

「古典を楽しむ会」では漢詩の古典「長恨歌」を取り上げました。有名な玄宗皇帝と楊貴妃の恋物語です。「短歌の会」では、いつものようにあらかじめ投稿していた短歌一覧表を用いての合評会です。

実はこの「短歌の会」はこぶし閉鎖中にも続いていたのです。「宇宙遊詠

(泳)」方式と呼びましたが、各会員の皆さんの自宅を訪問して投稿歌を集め、その一覧表を届けて選歌してもらい、またそれを集計して月報にするという「(架空の)短歌の会」でした。

送ることが第一ではないでしょうか。本号で特集した「こぶし」活動のねらいもその一つ。皆様のお知恵とお力をお借りして当会はその実現に注力していきます。

皆さんの作品から

事を終え九十歳とはこんなこと ぼっかり青くなにもない空 (笹路)
今日もまた病棟からの電話有り 回復は良く新緑の幹 (大橋)
庭の芝 三度張り替え ようやく根付く繊細な植物なり (熊谷)
四月目 (よつきめ) の辛抱となる七月は 早く終われと願う毎日 (近藤)
コロナ禍で会えぬひとあり泣きじゃくり 弱虫さらせひと老いるとも (最相)